

平成 25 年度 海上の森保全活用事業の取組状況

「あいち海上の森条例」（平成 18 年 4 月 1 日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取り組みを展開しました。

■主な取組の状況

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	農地（体験学習プログラム「里と森の教室」で使用）の適切な維持管理のため、委託業務を実施 0.746ha
森林育成事業	里山森林情報整備	森林簿情報のデータ化、循環の森地域の森林整備計画の作成
	森林経営計画の策定	公益的機能の維持増進を目的とした計画を策定
	人工林整備	人工林の健全な育成のため、過密林分の間伐等を実施 5.60ha
森林の維持管理事業	林道・作業道の補修等管理	森林の適切な管理や活動のために利用する林道及び作業道の維持管理工事を実施
	歩道等の整備・補修	森林の適切な管理や活動のために利用する歩道の草刈りなどの維持管理工事を実施
	巡視の励行	散策者の安全確保等のため、落枝や歩道等の巡視
遊歩施設整備	遊歩施設の適正な管理を図るため、窯の歴史館の手摺・床塗装、周囲の木柵補修工及び繭玉広場建物外壁塗装を実施	
事業用地維持費	事業用地の適正な管理を図るため、カシノナガキクイムシ被害木等の危険木伐採、草刈、センター内の除草等を実施	
自然環境調査事業	森林モニタリング調査	森の遷移を長期的にモニタリングするため、自然林の植生状況を調査 3か所
	希少動物の生息状況調査	ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎とするため、生息状況を調査
	猛禽類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎とするため、オオタカ・ハチクマ等の生息状況を調査

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

(1) 体験学習・多様な主体との連携

事業項目		取組状況					
		行事名等			定員 (延べ)	参加数 (延べ)	参加率 (%)
体験学習の実施	体験学習プログラム	里と森の教室	里山体験	9回セット	60	67	112
			物づくり	1回	30	30	100
	調査学習会	初夏の海上の森(花、虫、鳥)			30	22	73
		海上の森のキノコ			50	33	66
		海上の森の水生生物			30	36	120
		計			110	91	83
里山遊歩施設利用プログラム	森の楽校(遊歩施設・幼児体験フィールド) 4回			200	258	129	
計					400	446	112
多様な主体の参加の促進	県民や県民参加組織との連携	海上の森の会との連携 サポーター制度 42名の登録(26年2月末現在)					
	企業との連携	現在活動中の企業6社 ナゴヤキャッスル、豊田自動織機、トーマツ、 小林クリエイト、伊藤園、カルビー					
	全国の里山保全活動や施設との連携	あいち自然環境団体・施設連絡協議会(あいち自然ネット) との情報交換・連携イベント					
	大学・小中学校・官庁・市民団体等との連携	<講義・実習> 名古屋大学、南山大学、愛知工業大学、国際協力機構、 岩倉市、掛川市財産区連絡協議会 <団体・環境教育等> ボーイスカウト安城第3団、萩山小学校、幡山東小学校(3回)、 リリモツアーズ、名古屋YMCA、南山大学附属小学校、 下品野小学校 <調査> 海上の森モニタリングサイト1000調査 日本自然保護協会指導の植物・鳥等の市民調査(センター 担当:哺乳類)					



里の教室(田植え)



調査学習会
(海上の森の水生生物)



森の楽校

(2) 人材育成

事業	項目	内容
人と自然の共生 国際フォーラム	テーマ	子どもたちとともに考えよう、人と自然の共生
	実施日	平成 25 年 10 月 12 日
	場 所	地球市民交流センター(愛・地球博記念公園内)
	プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・アクション・プレゼンテーション ・グループディスカッション ・特別講演 ・パネルディスカッション ・フォーラム宣言
	講演者等	○特別講演: 毛利偉氏 ○パネルディスカッション コーディネーター: 川井秀一氏 コメンテーター: マリ クリスティーヌ氏 パネ リ ス ト: 広田奈津子氏、マイケルアランハフマン氏
	運 営	※人と自然の共生国際フォーラム実行委員会を組織して実施 委員会 2 回開催、委員長: 小川副知事
参加者数	600名	
あいち 海上の森大学	実施期間	平成 25 年 7 月～平成 26 年 1 月 7/7 開校式、1/25 閉校式
	講 座	森林再生・里山文化コース、国際交流コース
	場 所	あいち海上の森センター研修室・海上の森
	運 営	学長 マリ クリスティーヌ氏 副学長 稲垣前副知事 ※ 大学運営委員会で内容検討 2 回開催
	修了者数/ 受講者数	森林再生・里山文化: 27 人/36 人 国際交流: 0 人/3 人 計 27 人/39 人



人と自然の共生国際フォーラム
(パネルディスカッション)



あいち海上の森大学
(閉校式)

3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信

事業項目	取組状況
学習プログラムの作成・提供	学習教材「自然観察ガイドブック」を有償頒布
自然環境情報等の収集整理・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の自然環境情報の収集・展示 ・インターネット情報発信 書籍の購入 ・「ムーアアカデミー通信」の発行 4回 ・「海上の森調査報告書第3号」の発刊

4 センターの整備と運営

事業項目	取組状況
センターの管理・運営	施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、企画調整、樹木管理など ○施設利用者数（平成26年2月末現在） あいち海上の森センター 15,303名（累計 174,124名） 有料施設利用件数 工作室 9件 研修室 5件 幼児森林体験フィールド オープン時の公開講座(20.3.20)から26年2月末まで 延べ73回 5,958人 ○スタンプラリーの実施(H19.10.20から参加者1,267人)
海上の森運営協議会	2回(25年10月31日・26年3月20日)開催 ○平成25年度海上の森保全活用事業の取組 ○平成26年度海上の森保全活用事業の事業計画 ○海上の森保全活用計画の今後の進め方 等